

## 令和2年3月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和2年3月24日（火）午後15時50～午後16時30分

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、米澤新聞社、読売新聞、毎日新聞、NHK、N  
CV、置賜日報社

<市> 市長、秘書広報課長、危機管理主幹、担当者

4 記者倶楽部からの質問事項

- (1) 新型コロナウイルス対策の中止拡大に対する市の経済への影響とその対策についての考えはいかがですか。
- (2) 4月1日に市の防災マップが配布されるようですが、市長として市民にこのマップをどう活用してほしいと考えていますか。市の災害備蓄に対する考えはどうなっていますか。
- (3) その他

5 内 容

○秘書広報課長

それでは定刻となりましたので、令和2年3月の定例記者会見を始めさせていただきます。初めに、市長から質問に答えさせていただきます。

○市長

よろしく申し上げます。質問の一つ目は「新型コロナウイルス対策の中止拡大に対する市の経済への影響とその対策についての考えはいかがですか」というものでした。この件について、県内では感染者がまだ確認されていないものの、いろいろな場面において影響を与えていると考えております。特に、暖冬後に新型コロナウイルス感染症が出てきたので、感染が拡大傾向にある中で、いろいろな自粛要請が出ており、小雪、暖冬と重なって、経済的にも非常に影響が出ているという状況です。

この度、産業部で「暖冬及び新型コロナウイルス感染症による影響に関する緊急アンケート調査」を実施しました。調査の対象期間は、令和元年12月から令和2年2月まで、回答期間は令和2年2月28日から3月13日までということで、調査をしています。その中では、「大きく影響を受けている」という回答が52.3%と半数を超えています。スキー場関係は自粛による予約のキャンセル等がその要因と考えているところであります。また、減収の度合いについては、この時期は3月13日まで

の段階だったので、10%未満ということで業種によってばらつきがあった訳ですが、どちらかというと、この段階では暖冬による収入、入込減の割合が高く、まだコロナウイルス感染症の影響が顕著でなかったのだと思います。

その後、3月の中盤以降になってから、自粛ムードが高まっていき、この時期卒業式シーズンであった訳ではありますが、そういった自粛の中で、謝恩会もなくなり、飲食業に影響が出たと思っているところです。また、観光についても、小雪による部分もありましたが、あまり人の移動がないということもあり、観光業の方にも影響が出てきていると思っています。国の方でもいろいろな支援対策が議論されているところですので、県においても具体的な方向性が示されている部分もあります。本市としても、議会の閉会挨拶でも申し上げましたように、国、県とも連携をしながら、市独自の対応も今後、緊急的に考えていかなければならない状況も出てくるのだろうと思っています。このままの状況が続いていくなれば、影響は拡大していく傾向にあるのではないかと危惧しています。

本市の対策ではありますが、中小企業者の経営安定を図るための各種融資制度に係る利子補給制度を実施していますし、また、個人消費の喚起を図る事業についての支援をするということで、現在考えているところでもあります。また、消費喚起のためにどのようなことをしていくかということは、国の動向も見ながら担当部の中で検討をしている状況です。先日、国の対策本部で発表されている通りに、全国で感染者が出ていない県は6件です。感染が出ていない地域の対応も言われておりますので、私としては春の上杉まつりは全国から観客が集まってくるということで、実行委員会の方で延期という対応をしたようでした。

そういった大きなものを今の段階で実施するのは、厳しいと判断をしておりますが、小規模で感染のリスクを高める3つのことというものが出ているようです。換気、密集、あとは間近での会話というようなリスクを回避しながら、今後、人事異動に伴う歓送迎会等がありますが市の内部においては、感染対策をしっかりとしながら、是非、例年通り行うようにと話をしているところでもあります。経済の影響は相当出てきていると考えていますし、その対策については今申し上げた通りで、今後、緊急的に対応していかなければならないこともあると判断しています。

次に、二つ目の「4月1日に市の防災マップが配布されるようですが、市長として市民にこのマップをどう活用してほしいと考えていますか。市の災害備蓄に対する考えはどうなっていますか」という質問についてお答えいたします。この防災マップについては、全戸配布するものとしています。何よりも、本市の場合、災害の少ないところですので、防災に対する意識というものを高めていかなければならない地域だと考えております。

本市は、県内で自主防災組織の設立が新庄、小国、米沢というワースト3の一つに入っています。少しでも防災意識を高めていくということが、防災マップの一番の使命だと思っています。これをじっくり見ていただきながら、浸水区域とかあるいは、万が一の災害が起きた時の避難場所等も記載していますので、そういったところを市

民の皆様にご理解をいただきたいというのが、防災マップを配布することによる一番の役割であると思っております。

広報よねざわの3月15日号では、「防災マップが届いたら」ということで取り上げ、まず一番大事なことは防災マップをめぐってくださいということでお伝えしています。避難行動、要介護者利用施設に関する内容、浸水想定区域など、土砂災害警戒区域が分かるような内容ですので、まず、自分の住んでいるところがどのような状況になっているのか、しっかりと理解していただく。そして、避難所一覧で、どのような災害の時にどの避難所に行くのかということをチェックして、非常時の持参品等についても、このようなものを準備してくださいということも記載しております。また、地図面でいま自分の住んでいるところが、浸水想定区域なのか、土砂災害警戒区域に入っているのかも確認していただきたいと思います。地域全体や自宅周辺を見渡ししながら、どのような災害に見舞われやすいかということについても見ていただきたいです。このマップをマニュアルとして、自主防災組織を作られているところにおいては、その中で学習をして、必要であれば市の担当者を派遣しますとお伝えしております。

自主防災組織の結成率は70%程度であります。結成していないところにつきましては、この機会を活かして自主防災組織の結成をお願いしているところであります。いずれにしても、昨年台風19号の避難勧告を出して、ある程度は住民の皆さんの防災意識は高まってきているのではないかと考えております。ただ、これをより活用することによってしっかりとした、防災意識を高めていきたいと考えているところであります。

続きまして、市の災害備蓄関係についてであります。市の備蓄につきましては、市役所のみならず、市内各地に発電機や投光器、ストーブや救命道具などを備え、飲料水や栄養補給のための食糧、簡易トイレも備蓄しています。このように備蓄を進めているところですが、災害によっては、不足するものもありますので、第二段階としては民間業者との災害協定を活用していきたいと考えています。

○秘書広報課長

市長からの回答は以上です。幹事社を中心に質疑をお願いいたします。

○幹事社

質問のある方、お願いいたします。

○記者

コロナウイルス感染症関連で、市役所では歓送迎会を行ってくださいとのことですが、市長として、是非職員にはやって欲しいという発言に込めた思いはありますか。

○市長

現状においては、感染者が出ていないこと。そして、飲食関係も疲弊しているという状況にありますので、感染のリスクを回避しながらであれば、それはそれで良いのではないかと思います。ひとつは飲食店の経済効果もあるのですが、せっかくの歓送迎という人生の節目でもありますので、そういったことについて、全く感染者が出ていない状況の中で、感染者が出ている地域と同じような自粛は、必要ないのではない

かと思えます。現状を打破できるのではないかと思いますので、しっかりと感染対策をしながらやっていただけるのであれば、何ら問題ないのではないかと思います。これは市職員に対しての話です。

○記者

いつ、どのような形で指示をされたのでしょうか。

○市長

総務部長とこの対策について、前から話してはいたのですが、市の人事異動によって歓送迎会等も出てくるでしょうから、リスクを極力回避するような形で開催いただいて構わないのではないかとということで、総務部長も承認していたので、その旨の通知が各課へ流れていくのではないかと考えています。

○記者

そうすると、総務部長を通じて知らせているということですね。

○市長

はい。方向性としてはそのようなことを話しております。

○記者

早急な補正予算案というのはいかがでしょうか。

○市長

国の消費喚起の方策については、いろいろなことが言われていますが、まだはっきりとしたものが出ておりません。新年度の補正予算の中にとすることは、あるようですので、それがいつからなのかということを見定めながら、その前に、米沢市単独で対応する場合には、どのようなことができるのかということを担当と検討しているところです。

○記者

市立病院でのマスクや消毒液の備蓄については、どのようになっていますか。

○市長

はい。主管となる健康課の方では、コロナウイルス感染症に関する備蓄については十分に対応できているということで、医療関係を中心に、足りなくなった場合には配布するというようにしています。

○記者

新型コロナウイルス感染症について、市の税収やふるさと納税に関して、予測し難い部分もあると思いますが、現時点でどの程度の影響があるのでしょうか。

○市長

詳細については把握しておりませんので、どの程度お話しできるか分かりませんが、暖冬の影響が今のところは大きいのかなと考えております。一口に言うならば、売り上げが減少していることは間違いありませんので、法人市民税への影響、あるいは個人市民税への影響も当然あると思います。ただ、額については判断をしておりませんので分かりませんが、収入が少なくなってくれば、税収も少なくなってくるだろうと判断をしております。

○記者

市役所の中では、是非、歓送迎会をやるようにとのことでしたが、市民に対して言うまでの思いではないということですね。

○市長

思いとしてはそうありますが、現状においては、住民の安全確保が大事ですので、「大丈夫ですよ」ということを私の口から言うことはできません。いつ、どこで県内や米沢に入ってくるか分かりませんので、経済面と安全の確保ということについて、市民の声は二つに分かれているみたいです。そういったものもありますので、国の本部で申している内容をどう判断するかは、それぞれにお任せするしかないのかなと思います。ただ、このエリアでのリスクは小さなものだろうと判断しておりますので、そういったことをどのように理解をしながら、それぞれどのように対応していくのかということにならざるを得ないのではないかと思います。

○記者

学校の対応は教育委員会にお願いしている形ですか。

○市長

はい。教育委員会としては先ほどから言っていることに留意しながら、新学期から学校を再開するというところで話を聞いているところです。

○記者

春休み中の部活動について、鶴岡市あたりは昨日から再開しているようですが、米沢市ではいかがでしょうか。

○市長

これもどちらかというとなら教育委員会がどう判断するのかになるとは思います。私個人としては、学校の準備が整えば再開しても良いのではないかと考えております。しかし、これは教育委員会が決めることですので。

○記者

市の備蓄のマスクについてですが、他市では妊婦さんとか福祉施設に差し上げるという対応をしているようですが、米沢市ではどのようにするのでしょうか。

○危機管理主幹

妊婦さんに配布しているところもあるようなのですが、今のところ、まずは市立病院などの医療機関の備蓄がなくなれば対応するというところで考えておまして、一般の方への配布ということはまだ考えていないところです。

○記者

そのようなニーズがないということでしょうか。

○危機管理主幹

マスクの品薄が解消できていないという状況もありますので、ニーズはあるのかもしれませんが、そこまでは取り組めていないところです。

○市長

市のマスクの備蓄は3万枚ほどあるそうですので、私としては医療関係のマスクに

一定程度の余裕があれば、そのような人へ対応しても良いのではないかと考えております。いずれ、間もなくすれば、マスクの品薄も解消されるのではないかと思います。手作りマスクも出てきているようですが、生産面でもいろいろ取り組んでいる状況も聞いています。

○記者

先手で動いていただけると市民は大変ありがたいです。

○市長

そうですね。その辺も対策本部で検討させていただきます。

○記者

対策本部は公開なのですか。非公開なのですか。

○危機管理主幹

会議が終わった後で、会議の内容をお知らせしておりました。

○記者

政府の対応ですと、会議の頭出しだけでも撮らせていただくのですが、まずやっていますよという前向きな姿勢を市民に示す必要があるのではないのでしょうか。最初の5分間だけでも良いです。

○市長

分かりました。3月26日(木)の対策本部は13時から大会議室で行いますので、もしよろしければ、頭撮りだけでも取材いただければと思います。内容を精査したうえでお知らせいたします。

○記者

よろしく願いいたします。

○記者

防災マップについて、まず見て欲しいと言っておりましたが、色が付いているところの境がよく分からないので、自分の家がどのような区域なのか区別できないのですが、そのような疑問に答えるような拡大したものなどはあるのでしょうか。地域ごとの説明会で詳細に説明するなどの予定はあるのでしょうか。

○市長

地元の方でないからなかなか分からないのかもしれませんが、自分の家がどの辺にあるかくらいは分かると思います。

○記者

よそから来ているから分からないという言い方はないと思います。

○市長

地元の方が見ればある程度分かると思います。

○記者

自分の住んでいるところになぜピンクと黄色の境があるのかなどが分かりません。

○市長

この色分けは、水位が上昇した場合に50cm未満など、そういったものです。

○記者

例えば、愛宕コミセンの周りに黄色がありますがオレンジ色のものが混在していますよね。これは何でしょうか。

○危機管理主幹

これは、地形の高さの違いがあるため、このように出ています。また、ホームページにもPDFを記載して、拡大しても見れるようにしたいと考えております。

○記者

分かりました。

○秘書広報課長

市長は次の公務がありますので、防災マップについて質問があるようでしたら、会見終了後に危機管理主幹にお聞きいただければと思います。

○幹事社

皆さん、よろしいでしょうか。

○秘書広報課長

それでは、令和2年3月の定例記者会見を終了いたします。